

指定管理者からの令和6年度事業報告概要

施設名	岡山県渋川青年の家
施設所在地	岡山県玉野市渋川 2-7-1

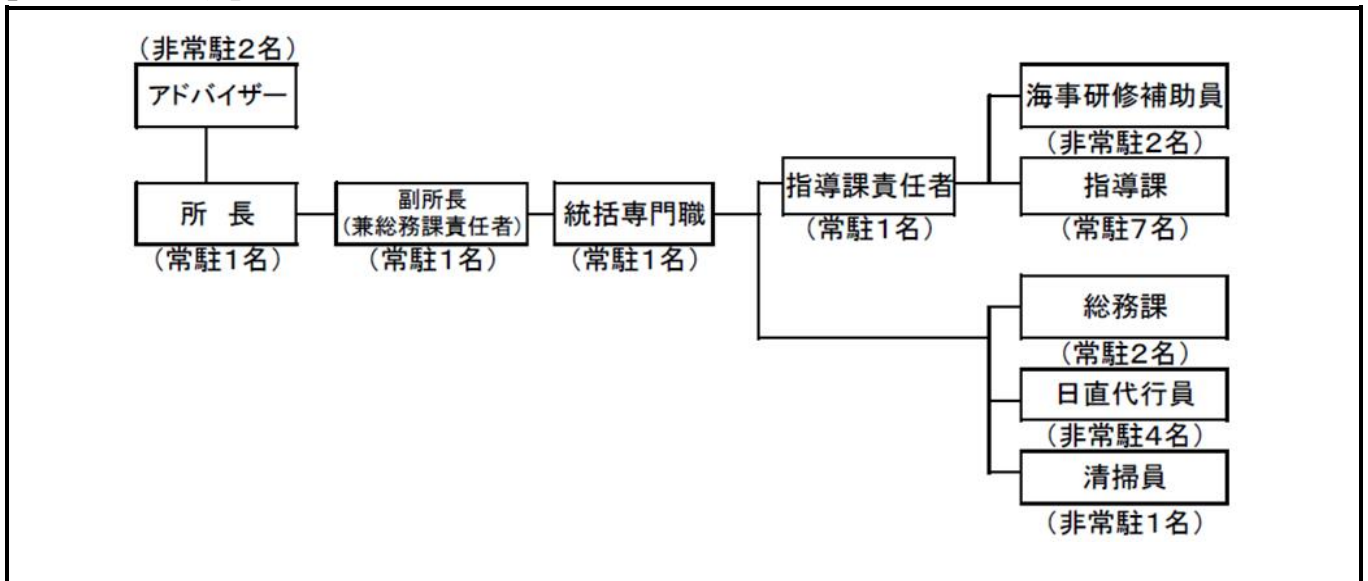
【指定管理者の概要】

名 称	国際ライフパートナー株式会社	代表者	荒谷 明彦
所在地	兵庫県神戸市中央区海岸通 6		

【指定管理の概要】

指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	報告期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
管理業務の内容	・青年の家の施設等の維持管理に関すること。 ・青年の家の施設等の利用の許可に関すること。 ・青年の家の運営に関すること。		

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

(單位：件)

		施設利用			合 計
許可件数	6 年度	3 5 0			3 5 0
	5 年度	3 6 2			3 6 2
	増 減	△ 1 2			△ 1 2

【維持管理の業務の実施の状況】

項 目	内 容
施設等の維持管理業務	・維持運營業務 ・保守点検業務 ・清掃業務 ・警備業務
施設等利用許可業務 (４月～３月)	施設利用 (350件) 〔主な内訳〕 海事研修 303件 一般研修 47件
自主企画事業	計 8 事業 シーカヤック体験、しぶかわマリンキャンプ、ホップ・ステップ (2 回) 、 親子カッター、渋川青年の家まつり、親子deマリンクリスマス、 海事研修出前講座、渋川マリNZ

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

	施設等利用料			合 計
収 入 額	7,764,560			7,764,560
利用件数	350			350
減 免 額	653,220			653,220
減免理由	要保護又は準要保護、県内養護施設入所の児童生徒等			

指定管理者からの令和6年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		6 年度	対前年度増減額	5 年度	備 考
収 入 額 A		119,796,060	3,255,940	116,540,120	【主な増減内容等】 (収入) ・ 料金改定に伴う施設利用料の増 3,483,100円 ・ 自主企画事業の実施回数増に伴う参加費の増 272,840円 ・ 建築基準法第12条に基づく点検業務関係費用の減 (3年に1回実施) △500,000円 (支出) ・ 職員の増等に伴う人件費の増 3,461,028円 ・ 修繕費の増 896,665円 ・ 維持管理費の増 525,231円 ・ 消耗品費の減 △2,411,291円
内 訳	指定管理料	111,500,000	△500,000	112,000,000	
	利用料金収入	7,764,560	3,483,100	4,281,460	
	事業収入	531,500	272,840	258,660	
	その他	0	0	0	
支 出 額 B		120,143,196	3,666,836	116,476,360	
内 訳	人件費	94,958,861	3,461,028	91,497,833	
	管理運営費	18,706,397	2,070,809	16,635,588	
	事業費	6,477,938	△1,865,001	8,342,939	
	その他	0	0	0	
収 支 額 A－B		△347,136	△410,896	63,760	
県への納入金		-	-	-	
実質的な県負担額		111,500,000	△500,000	112,000,000	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目		区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理運営状況	①適切な施設管理の履行	B	事業計画に沿って適切な管理が履行されていた。
	②法令等の遵守状況	B	関連法令に基づく義務は適切に履行されていた。
	③安全性の確保	B	危機管理マニュアルに基づき、安全性を確保した管理運営が履行されていた。
	④財産の適切な管理	B	施設・設備の紛失等はなく、保守管理等の適切な管理が履行されていた。
導入効果	①利用状況	C	少子化の影響等により、利用件数、利用者数ともに減少した。 【利用件数】 R6: 350件 ← R5: 362件 【利用者数】 R6:36,006人 ← R5:37,519人
	②収支状況	C	年度末に高額な緊急修繕が発生し、予定していた支出額を上回り赤字決算となったが、早急な対応により、利用者へのサービス提供の維持は可能となった。
	③サービス向上	B	カッター研修や地引き網研修において、水筒を持ち込ませるとともに、屋外で説明を行う際は、建物の日陰に移動して行うなど、熱中症対策を徹底し、利用者により安全な環境を提供した。
管理運営業務全般		B	協定書、事業計画書、収支計画書に基づき、適切な管理運営業務の実施、サービス向上の取組がなされた。今後も安全確保を第一とした管理運営が望まれる。また、利用件数及び利用者数増に向けた広報活動を、引き続き積極的に行う必要がある。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。 B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。